放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和2年3月27日　　事業所名　キッズ倶楽部

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	1	1	体を動かすスペース、落ち着いて活動するスペースを分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	11	3	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	13	1	0	玄関のスロープ、手すりの設置	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	2	2		モニタリング会議に非常勤職員も出席し、情報共有する必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	0	0	前回のアンケート結果を踏まえ、業務改善につなげた。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	4	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	4	4		今後第三者評価を行う必要がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	2	0	外部研修、内部研修の機会の確保に努めた。	外部研修の報告など全職員に共有できるようにしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12	2	0	保護者面談や月1回のモニタリング会議で個別支援計画の振り返りをしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	3	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	1	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	3	0	季節に合わせた製作活動や運動遊びなど工夫をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	12	2	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	13	1	0	身辺自立の目標や、コミュニケーションについての目標など、児童の発達に合わせて作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14	0	0	朝礼の他に非常勤職員が出勤してからも打ち合わせの時間を設けている。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	1	1	終礼時に事故報告やひやりはっとを含めた情報共有を行っている。	非常勤職員の退勤時間に合わせた情報共有が課題。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	1		支援計画に沿った記録をすることでモニタリング、再アセスメントに繋げていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13	1	0	月1回モニタリング会議を行い、該当者の目標、支援内容を評価し、見直している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	8	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	14	0	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	13	1	0	利用予定表や下校時間のおたよりなど連絡をとっている。送迎時に今日の様子など教えてもらうようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	4	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	4	0	相談支援専門員を通して情報共有を行っているケースもある。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	5	3	現在は該当者がいない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	3	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6	7		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	6	7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14	0	0	送迎時や連絡帳を通して情報を共有している。保護者面談も年2回行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	4	3	保護者会の際にペアレントトレーニングとして「褒める」について情報提供をした。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	1	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	1	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	1	0	年2回保護者会を開催し、保護者同士の交流の場を設けている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	1	0	年3回キッズ倶楽部だよりを発行し、活動報告をしている。	
	35	個人情報に十分注意している	12	2	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	8		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	4	2	災害などの緊急時対応について保護者に向けておたよりを配布した。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	2	0	職員のみで火災の避難訓練、不審者訓練、AED講習を行った。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	1	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	2	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	6	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14	0	0	事故報告書、ヒヤリハット報告書の情報共有を行い、再発防止に努めている。	